

審議会等会議録

発言者・会議のてん末・概要

1 開会

司会 (麦倉主幹) 只今から、令和4年度第4回久喜市立小・中学校学区等審議会を開催いたします。

なお、本日は、委員総数20人に対して、出席者は、16人でございます。従いまして、久喜市立小・中学校学区等審議会条例第7条第2項に規定されている会議の開催要件を満たしていることを報告させていただきます。

また、本日の傍聴者は2人でございますので、ご報告させていただきます。

2 あいさつ

司会 (麦倉主幹) はじめに、山本会長からごあいさつをいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

山本会長 皆さん、おはようございます。

寒い日が続いておりますけれども体調いかがでしょうか。コロナも段々収束するかなのような記事があり、マスクも屋外では外してよいというような記事もありましたけれども私は花粉症もこれからありまして、当分は外せないと思いますが学校も日々の日常生活も普段、普通に戻ってきているのはとても良いと思います。コロナの3年間を経て更に良い生活ができると思います。今日は皆さんの意見たくさん頂戴したいと思います。

3 議事

司会 (麦倉主幹) ありがとうございます。

次に、議事でございます。

会議の進行につきましては、久喜市立小・中学校学区等審議会条例第7条第1項において、会長が議長となる旨の規定がございますので、山本会長に議長をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

議長 (山本会長) それでは、暫くの間、議長を務めさせていただきます。円滑に議事が進行いたしますよう、皆様方のご協力をお願いいたします。

はじめに、議事録の署名人でございますが、名簿順で河野委員を指名しますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事の(1)「久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向性について」過日実施しました久喜北小学校及び本町小学校の保護者との意見交換会とアンケート調査の報告と伺っております。

それでは、事務局より説明をお願いします。

事務局 (田口課長補佐) それでは、議事の(1)久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向性について、ご説明いたします。

資料1をご覧ください。

令和4年11月30日及び12月2日には久喜北小学校の児童の保護者を対象に、また12月6日及び12月7日には本町小学校の児童の保護者を対象に意見交換会を実施したところでございます。

なお、久喜北小学校の意見交換会につきましては、当初、久喜北小学校の体育館で実施する予定でしたが、授業参観がオンライン開催となったことから、意見交換会につきましてもオンライン開催としたところでございます。

これまで、令和4年6月から7月にかけて実施しました説明会におきましては、久喜中学校区3小学校の代表者による懇談会でのご意見及びその代表者から提出された「市長への要望書」には、「新校は本町小学校の位置に設立すること」などの内容を踏まえ、教育委員会では、今後の児童数の見込みや現状の学校施設の利用状況、関係学校の歴史的経緯などを勘案し、「久喜北小学校と本町小学校を統合し、新校の位置を本町小学校の位置に設置すること」を検討案として説明してきたところでございます。

今回の意見交換会では、これまで教育委員会でお示した検討案の考え方を説明した上で、「本町小学校と久喜北小学校が、将来的に統合する場合の新校の位置について」のアンケート調査を実施することを説明し、その趣旨をご理解いただいて、ご回答いただけるよう現時点で確認したいことや全体的な内容について質疑応答の機会を設けました。

久喜北小学校では両日ともご意見はありませんでした。本町小学校でいただいたご意見といたしましては、教育委員会の考える本町小学校の学校統廃合等の方向性の検討に関する経過や考え方についてのご質問やアンケート調査を実施するにあたり、説明会や意見交換会に出席出来ない保護者への情報提供に関するご提案等をいただいたところでございます。

続きまして、資料2をご覧ください。

令和4年12月14日から12月28日の15日間の期間で、本町小学校の学校統廃合等の方向性についてのアンケート調査を実施いたしました。

その概要についてご報告いたします。

はじめに、対象は、本町小学校及び久喜北小学校の保護者とし、世帯で1回の回答としております。

次に、質問内容でございますが、「教育委員会では、将来的に本町小学校と久喜北小学校の統合が必要になった場合に、新校の位置を現在の本町小学校の位置とすることが望ましいと考えている。このことについて、「賛成」、「どちらかといえば賛成」、「反対」、「その他の方法がよい」のうち、いずれか1つを選択する。」というものでございます。

次に、回答数及び回答結果でございます。対象家庭数350件のうち、期日内に138件の回答があり、回答率は39.4%でございました。

なお、締め切り翌日に4件の回答がございました。こちらも参考として含めた場合、回答142件、回答率40.6%でございます。

期日内の回答における結果としましては、賛成が61件で割合が44.2%、どちらかといえば賛成が44件で割合が31.9%、反対が30件で割合が21.7%、その他の方法がよいが3件で割合が2.2%でございました。

参考値として、締め切り翌日にご回答いただいた4件の方は、賛成3件、反対1件でございました。

また、各小学校の内訳といたしましては、本町小学校は、概ね「賛成・どちらかと言えば賛成」でございまして、久喜北小学校は、「賛成・どちらかと言えば賛成」と、「反対・その他の方法がよい」が拮抗した状況でございました。

教育委員会といたしましては、将来的な展望を見据えて、現在の本町小学校の老朽化と近い将来の統合等の課題に対応してまいりたいと考えておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

事務局からのご説明は以上でございます。

議長

(山本会長)

ただいま、事務局から、久喜市立本町小学校の学校統廃合等の方向性について、関係学校の保護者を対象とした意見交換会の概要、また、その後に実施したアンケート調査の集計結果について、報告がありました。

これまで伺っている本町小学校の施設の状況等を考えると、しっかりと議論をしつつも、出来る限り早めに方向性を決めていく必要があると感じております。

ただいまの報告に対して、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

河野委員

資料2のアンケート調査について4択ありまして「どちらかといえば賛成」という選択肢をどう言う意味でどういうご理解で設けたのか教えてほしいです。

議長

(山本会長)

選択肢の設定についてですね。どういう意味で設定したのか事務局より説明お願いします。

事務局

(関口課長)

選択肢の設定の仕方につきましては、一つにはこれまで行ってきた江面小学校や菖蒲中学校のときに実施したアンケートの選択肢を参考としました。また、賛成、反対は必須項目であります但中間部分をどのようにしようかというところがございまして「どちらかといえば賛成」の項目を作る中で、「どちらかといえば反対」という項目を更に設けるか考えたのですが「その他の方法がよい」という選択肢を設けることにより、ご意見がいただけると考えました。学校の統合ということで、全面的に賛成の方も一定数いると考えますが、この状況であると賛成がやむを得ない「どちらかといえば賛成」がやむを得ないと保護者の皆さまが考えるのではないかという点で設定いたしました。

中村委員

会議が始まってから資料について、説明を受けましてこの後何を聞いたらいいか、何を発言したらよいか皆さん戸惑っているのではないかと思います。今日の会議でこの後、声が出なかった場合に次は何を用意しているのか何を情報提供してくれるのか伺いたいと思います。

議長

(山本会長)

この会議の目的というところと思うのですが今まで本町小学校のことについて、皆さんのご意見を色々伺ってまいりました。そして、保護者の皆様からアンケートも取りました。今日は皆さんのご意見を取りまとめいただき、皆さんが統合の方がよろしいというようなご意見が出れば統合の方向で答申をさせていただきますし、もう少し時間をかけてというお考えであれば今後のことについて事務局と相談となります。

中村委員

統合の方がよろしいかどうかはもう少し話を詰めて行かないとよろしいかどうかは意見を出せないと思います。今日の資料で皆さん意見が出せず、もう少し踏み込んだ意見交換が必要ではないかと考えます。

堀井委員

小規模化による学校の統廃合は、これから避けられないことで久喜北小学校と本町小学校だけでなく、他の小中学校についてもこれからこの会議で話し合っていく大事なことで考えています。この後、久喜北小学校の児童数が減っていくことは事実ですし、その後、小規模化になって統廃合が課題として出てくると思いますが、それがいつになるのか切実感として久喜北小学校の保護者にも本町小学校の保護者にも十分伝わっていないのではと思う。その理由としてアンケートを取っている保護者達は、卒業した後に統廃合か義務教育学校ができると思っている。もっと人数が減ってきて、これまで話し合ったような学校の数になってくるとアンケートの結果も違ってくると思います。本町小学校の状況を見ると大規模改修は喫緊の課題であります。会議の結果を待ってどうにかするというのではなく、すぐに始めなければいけない状態であると考えています。本町小学校の保護者や先生方も同じ考えだと思います。この会議で方向性と言われても将来的に小さくなれば統合が必要で、場所にしても久喜北小学校の今の校舎では敷地的に無理であると結論が出ていることから、選択肢としては本町小学校に建て直すか改修するしかないのでアンケートを取ってもしょうがないというかそれしか選択肢がない状態なので、この審議会で何を決めなければいけないのか、ここで何を話し合っていきたいのか分からないので皆さんも意見が出しづらいと考えます。

事務局

(関口課長)

教育委員会といたしましては、諮問のところでも一度ご説明いたしました、本町小学校と久喜北小学校が将来的に統合した場合にその場所をどこにするのかを皆様にご審議いただきたいと考えているところでございます。本町小学校の校舎の状況が非常に教育環境としてはよくないため、改修を一刻も早く進めたいという思いがございます。一方で将来的に統合が見込まれるのであれば本町小学校の場所に統合後の学校が設置されるのか、それとも久喜北小学校の位置に統合後の学校が設置されるのかによって本町小学校の改修をどの程度応急処置で済ませるべきなのか、それとも抜本的に改修すべきか多額の費用がかかる問題でもありますので、どちらにするのが将来的な位置によって変わってくる事情がございます。そこで、教育委員会としては、本町小学校が適切であると考えておりますが、それを進めるためにアンケートを取らせて頂き学区等審議会の皆様にご審議いただき統合した場合の新校の位置を本町小学校の位置でよいかご審議いただき、よいとなれば本町小学校のハード面での教育関係の整備について将来的に統合後の学校が設立されることを前提に進めてまいりたいと考えております。皆様には、アンケートの結果も踏まえて教育委員会案でよいかどうかを委員の皆様にご審議いただきたいところでございます。

議長

(山本会長)

統合するかどうか統合した場合の場所が本町小学校でよろしいかということを考えていただきたいということでございました。統廃合の対象となるとその学校の規模とかもあるので改修や新校舎とか遠い将来かもしれないが、本町小学校の

修繕をしていく中でも現在の問題と遠い将来の問題を併せて比較した場合に統合の場合は、本町小学校の場所でのよろしいかということでこの審議会は、保護者のアンケートを基に皆様のご意見を伺ってある程度の方向性を出せればと考えます。

河野委員

江面小学校のPTA役員として統合する時期を経験させていただき、その時のお話をさせていただきます。本町小学校を新しく建てておいて、改装ではなく新しく建てて久喜北小学校の人数が減ってきたときにいつでも統合できるように本町小学校に来てもらう方が良いと思います。改装する場合は、江面小学校は人数が少なかったため、特別教室の家庭科室、美術室、図工室について農村センターを借りて授業を行っていたのですが、工事中の騒音がすごかった。授業中に工事の騒音がひどかったことから新しく建てて、アンケート結果は現在の4年生から6年生にとっては卒業してしまうことから関係がないから回答率が低かったと思いますが、本町小学校の校舎の問題は工事が大至急であることから新しく校舎を建てて受け皿を設けておいてからの方向で良いのかなと思っております。

議長

(山本会長)

いずれ統合した場合には、その受け皿が本町小学校にあるようにということですよ。そういった意味で事務局では統合の時期が示せないこともあると思います。その時期になったら先を見越して進めて行くとのことでした。他にいかがでしょうか。

堀井委員

教育委員会としては、久喜北小学校と本町小学校が統合するにあたってどういう条件のときに統合すると考えているのですか。今までは複式学級になって統合するというのが一般的でありました。久喜北小学校の児童数は、2028年には各クラス20人以上で複式学級にはならず130人以上であることから2028年以降に統合となると遠い将来すぎると感じることから、それであれば今お話があったように本町小学校の場所に新校舎を建てて、統廃合するそのときにどういう形であるのかを考える方が現実的である。

議長

(山本会長)

事務局いかがでしょうか。

事務局

(田口課長補佐)

統合に関しましては、資料にお示ししているとおり令和8年度以降に久喜北小学校では単学級になる見込みです。今年度の学区等審議会におきまして基本方針の改訂をさせていただき、改訂前は複式学級になる、複式学級になった場合に至急統合の対象で進めてきたところですが、改訂に伴って6学級及び6学級が見込まれる学校を対象としておりますので、久喜北小学校の児童数の推移を見ながらと新校の位置が本町小学校となれば、新校舎を建てるのか大規模改造となるのか方針が決定後の検討となるので、統合に併せて先ほどの河野委員からのご発言にもありましたように何かしら改修ないし建替え、新校舎を建てたタイミングで統合を迎えるのではないかと考えます。令和8年度に6学級になるので8年度に統合というわけではなくて推移を見ながら進めて行くと考えております。

堀井委員

令和10年度にもう一度、例えば久喜北小学校の方でアンケートを取ったときに今の人数で1学級だけれども本町小学校の方に来たいですかと聞くと反対する

ような気がします。小規模の学級でのデメリットを感じるほどの人数ではなく4人とか5人となればこの学校では難しいとなるが20人近く各学級にいたのであればアンケートの結果もずいぶん大きく変わってくると思います。

儀仁委員

上内小学校として統合を体験した身として話させていただければ、上内小学校は、統合の話が出たときには、1クラス10人前後の状況での統合で初めは何年か猶予をもって統廃合という形で鷺宮小学校に行くところを1年間で急いで休校という形をとって統廃合という形で鷺宮小学校に行かせていただいているのですが、それでも10人前後であっても5年も6年も兄弟が通っている親からすれば小学校に愛着があってどうしても統廃合に踏み切れないというかちょっと納得がいかないまま今もいるお母さんたちもいると思います。そう考えるとこの時期に統合しますよと今から時期を示していただかないとお母さんたちの準備、PTAの方の準備もあると思いますのでそういった点も考えていただければ先ほど言われたように受け皿があればこの時期にこうなったら統合しますよと今から明確な時期をある程度示していく方が良いのではないのでしょうか。

議長

(山本会長)

ありがとうございました。実際に体験されて感じたことだと思います。他にいかがでしょうか。統合する時期が来たら本町小学校の場所でという皆さんのご意見です。

儀仁委員

単学級になったから統合しますでは遅いと思います。上内小学校だってもう少し早くできたと思います。令和10年には令和8年度以降単学級になると分かっているのであればこの時点で統合しても良いと考えている。男の子の人数が1桁になってくるのはかわいそうだと思います。

議長

(山本会長)

早めに保護者にお示しして、その準備という不安を払しょくして、いずれはこうですよと先の姿をお示しするのは早めにお願ひしますということですね。

儀仁委員

卒業していく身としては関係ないというところはもちろん大前提としてありますし、下の子どもが6年生で鷺宮小学校に通っているのですが、自分の子どもは関係ないと考えています。そうすると話を聞いても関心が低いことから、低学年からその下を対象に話をしていくべきではないかと考えます。卒業してしまうと関係ないと考えることから、アンケート結果も変わってくると思います。今後、久喜北小学校、本町小学校に入学する保護者や家庭を対象に説明していくべきではないかと思っています。

議長

(山本会長)

久喜北小学校の保護者にはもっと小さくなってしまわないかとかさらに進んだらどうしようかという不安について、将来こうですよと早めに進学する前から保護者に伝えて不安をなくすという準備ですね。

保護者の立場から福田委員いかがでしょうか。

福田委員

私は、白岡市大山小学校の出身で小さい学校で僕がいた時ですら単学級で1クラス20人くらいでした。その時点で女の子が8人しかいませんでした。今でも50人くらいでまだ合併の話が出ておりません。確かに委員さんが言った通り僕は、実は子どもを人数が少ないことから久喜市に引っ越しました。先に情報があるというのは、これから子どもを久喜市に住ませる親としてはすごくありがたい

と今聞いていて感じました。明確に決められるかどうかは分からないけれど、いつ統合しますと親に知らせておく方が新校を建てるにせよ改修するにせよ計画は立てやすいと思います。

議長
(山本会長) 保護者としては本町小学校の場所に統合に備えて校舎をこうしますよと統合の時期がきたらこうなりますよと含めて保護者に伝えた方が良いというですね。

福田委員 学校に入学する際にどの学校に入れた方が良いか決めて久喜市内で引っ越しをした方もいます。

儀仁委員 それに関して言えば、上内小学校も人数が少ないからここに通わせたくないという理由で団地から引っ越していった方もいました。

議長
(山本会長) ありがとうございます。
丸簞委員いかがでしょうか。

丸簞委員 久喜市PTA連合会の会長をやらせていただいておりますが、なかなか難しい問題だと思います。子どもの減少は避けられない中で実際に統合して学ぶのは子どもであり、子どもの気持ちケアも統合すると色々発生してくることもあり、そういったことも踏まえて施設の老朽化への対応ももちろん大切、学びの場で子どもが危険にさらされることは保護者としては心配があります。そういったことも踏まえて保護者に対して情報を提供する。保護者は離れると関係ないからいいやと関心がなくなってくることから、コミュニケーションを取って保護者が納得するような形での統合が望ましいと思います。私たちPTAもここ数年、統合で役員が決まらないとかPTAはやめた方が良いとか色々な話が出てくるので、子どもを育てる上で学校と地域、家庭、PTAの連携が大切である。統合ありきは仕方がないと考えますので統合後のアフターケアのことも慎重に考えていただきながら進めていただくとPTAの代表としてありがたいです。

議長
(山本会長) ありがとうございます。
森田委員いかがでしょうか。

森田委員 私は、菖蒲中学校のPTA会長をやらせていただいております。また、子どもが小林小学校に通っており、私自身も小林小学校に通っていましたが、当時は2クラスありました。おばあちゃんは子どもが小林小学校に通うとなったとき、1クラスと聞いて1学年20人で大丈夫かと心配していましたが、通わせてみたら大きな問題も感じることなく親同士のつながりも強く、雰囲気の良い学校だと感じております。今後、複式等考えるとどのような問題が出てくるのか心配になりますので、統廃合は仕方がないと考えます。菖蒲中学校統合してみても雰囲気を見てみると自分の息子は喜んで通っておりますが、話を聞きますと旧菖蒲南中学校出身の大半の生徒は統合しない方が良かったと感じているらしいが時間が解決するかもしれません。今回の本町小学校と久喜北小学校の問題は校舎の建替えとアセットマネジメントのハード面と子どもたちのことを考えるソフト面があるので複雑だと思います。今回の統廃合に関しては、直近の話ではなく早い段階で現在の小学生の保護者に対してではなく、その下の保育園や幼稚園に通わせている保護者への説明が大事だと考えます。統廃合を進めて行く中で回数を重ねな

がら根気よく説明していくことが大事かなと考えます。

議長
(山本会長)

他にいかがでしょうか。

中村委員

現在の話題を次の世代に残すと、情報化社会で物事がすごく動く社会で、30年後とか10年後とか考えて物事を進めていっては取り残されてしまいます。今何をしなければならないのかを考えますと、統廃合の方向に進むのが1番良いと考えます。私たちの世代がすべきことは、乗り越えてその先の明るい社会を夢見て次の世代に託していくことが必要ではないかと考えます。江面小学校と上内小学校の場合は少子化の問題が喫緊の問題であったことからせざるを得ない状況でありました。今回の場合は、まだ不透明な点もあり、例えば少子化も喫緊の問題ではありません。教育の内容を充実するために統廃合は必要であることを教育委員会は自信をもって保護者、地域に引き続き説得に努めてほしいです。

議長
(山本会長)

ありがとうございました。
松本委員いかがでしょうか。

松本委員

現在、本町小学校に通っている子どもたちは、言い過ぎかもしれませんが、劣悪な教育環境のもと日々過ごしていることは、まるっきり視点が外れているのではないかと。今通っている子どもたちにその環境を改めてあげる方法を考えていく必要がある。そちらの方を考える視点が抜けている。いずれにしても毎年度部分的に改善していただけないという話を聞いておりますけれども、基本的に何を行うにしても予算が必要であり、議会の議決を得なければ予算の執行ができない。議会に提案したときに、今の本町小学校の劣悪な環境を大規模改修で一気に解決したいと議会に提案したときに子どもたちにとって今の環境が危険で安全に学習できないということで議会の賛同が得られないのではないかとというのが私の勝手な意見です。順序でいえば統合があって次に新校をどうするかがありきと考える。統合した場合という聞き方はおかしいと思う。大規模改修するための裏付けとして審議会で答申を得ました、了承を得ましたとすると事務局としては進めやすいのではないかと。基本的には今の子どもたちが学校生活において不便を感じているのかは分かりません。私としては新校でも良いのですが、大規模改修した場合に久喜北小学校に複式学級ができた場合に大規模改修した上での本町小学校のキャパシティは受け入れることができるのか久喜北小学校に本町小学校を受け入れられるキャパシティがあるのかも判断材料と思います。久喜北小学校に本町小学校を受け入れられるキャパシティがないとすると必然的に本町小学校に久喜北小学校を受け入れられればそちらに統合する。色々な事を考えていたので何が言いたいかははっきり分かりませんが、一つだけ言いたいの、今の子どもたちをどうしてあげたらいいのか、そこだけです。

議長
(山本会長)

事務局から今までもお話していると思うのですが、もう一度今のご意見に対して説明をお願いします。

事務局
(関口課長)

色々なご意見いただき誠にありがとうございました。少しでも早く改修したいという思いから今回のような諮問をさせていただきました。今の本町小学校の校

舎のままで大規模改修した場合に久喜北小学校の児童が移動してきた場合に、私たちの試算では、今の校舎のスペースでも受け入れられると考えております。一方、久喜北小学校のスペースで、本町小学校の児童が移動となると明らかに足りなくなることが分かっており、もし受け入れるのであれば久喜北小学校の敷地内に新たに増設の校舎を建てる必要があります。しかし、敷地面積を考えますと校庭に増設校舎を建てた場合に校庭の広さがかなり狭くなります。法的な要件はクリアしますが、子どもたちにとってそれが良いかどうかを考えますと、そういった面も含めまして、新校の位置は本町小学校が望ましいと考えまして説明会においてもそのように説明しております。頂戴したご意見も含めまして、より良い子どもたちの教育環境のために検討してまいりたいと思いますので貴重なご意見いただき本当にありがとうございました。

議長

(山本会長)

現在の久喜北小学校に本町小学校の児童が入るキャパシティは難しいということですよ。今の本町小学校の子どもたちに対する校舎の修繕や危険性への対策、安全性の確保については、以前にもお話いただきましたが対応していくということですね。

他に折原委員いかがでしょうか。

折原委員

概ね本町小学校に統合するという事で委員の皆さまご理解いただいていると思います。その後、建物を改修しながら新校舎を建てるのか、今のまま使うのか教育委員会として方向性を今後の課題として進めて行かなければならないと思います。本町小学校は現在、校舎が立っている比較的南側で段々北側に寄ると沼地で地盤が弱く構造による問題や新校舎をどこの位置に建てるのか具体的な計画を予算措置のことを含めて年度計画で策定していく必要があります。

議長

(山本会長)

折原委員としては統合する場合は、本町小学校の場所ということによろしいでしょうか。

折原委員

新しい校舎を建てておいて、そこに統合した学校の児童を迎え実施するのであれば予算のことがあるが早急に進めた方が良いでしょう。

議長

(山本会長)

ありがとうございました。

内田委員いかがでしょうか。

内田委員

あまりはっきりしない2つのことが同時進行で協議をしているのでとても難しいと思いました。統廃合もはっきりしない、するのかわつなのかも分からない校舎の方も大規模化改修するのか新校舎を建てるのかはっきりしない状況でそれをうまく両方成立させる難しさを感じております。理想的に言えば本町小学校の土地に新しい新校舎を建てて、新校舎が完成した時点で一緒に統合するというのが、久喜北小学校の保護者にとっても新しい校舎と一緒にスタートする新しい学校としてのスタートが切れるので一番理想的な形だと思います。

議長

(山本会長)

ありがとうございました。

鈴木委員いかがでしょうか。

鈴木委員

私は、改修とか新築とか離れてこの会議は考えるべきであると思います。中村委員のご発言にもありましたが、子どもたちの教育にとって統合がメリットある

のかベストなのかということと、その時の校舎の位置をどこにするのが議題と思います。もちろん本町小学校がひどい状況ではあるが、同じような状況の学校もたくさんあると思います。例えば新築で20億円かかって建てるのが10億円の改修で済むのであれば残りの10億円を他の学校の整備に回せることもできると思います。新築の校舎を建て、建て替えがスムーズに終わって、きれいな学校で子どもたちが学習できるのはいいのですが、久喜市全体のことがあると思いますので、この場では建物の改修とかそういう話はなしにして考えていくべきだと思います。場所については、立地を見ると久喜北小学校でも本町小学校でも通学の距離は変わらないと思います。その中で、スペックでいうと本町小学校の方で進めて行く方が良いと思います。大規模改修するにしても、合併するから改修をしますという方が当然予算が取りやすいと考えます。合併にも賛成ですし、場所も本町小学校で良いと思います。

議長

(山本会長)

ありがとうございました。

柴崎委員いかがでしょうか。

柴崎委員

歴史的なことを見れば久喜北小学校は本町小学校から分離して設置された学校とありますが、それはどういうことかという久喜北小学校の保護者の中にも本町小学校で学んだ方々もたくさんいると思いますし、ある程度、通学区域や通学班、通学路も整備されていると考えます。授業しているときに改修工事が果たして可能なのか、ある程度しっかりした校舎出来たら授業しながら改修をしてその校舎を作ることが可能です。ただ一つお聞きしたいのは、改修して地震とか耐震構造に耐えられる校舎なのかというのが少し気になります。もしそれがダメならば本町小学校の校庭部分に新校舎を作るのが一番ふさわしいし、ある程度学区も決まっている元々一つの学校ですのでそういう取り組みがふさわしいと考えます。菖蒲中学校統合のときは、改修しながら徐々に何年も前から統合した経緯があります。統合する学校は、保護者は対等合併か吸収合併か、またはどちらをこれからの学校の方針とするのかすごく気になります。その点が分からないので教えてくださいたいです。

議長

(山本会長)

耐震の問題と吸収合併の問題について、事務局から説明をお願いします。

事務局

(関口課長)

学校の統合にあたって対等合併なのか吸収合併なのかにつきましては、教育委員会の考え方としては全て対等合併、対等での統合と考えております。Aという学校とBという学校があれば一旦両校廃止にしまして統合されたCという学校を新たに設置するという法令上の手続きを行います。江面第一小学校と江面第二小学校を統合した江面小学校も菖蒲中学校は同じ校名ですが菖蒲中学校と菖蒲南中学校も手続きは同じであります。今後の学校につきましても、同じ考え方であり

事務局

(田口課長補佐)

学校の耐震化につきましては、昭和56年以前の建築の建物については全て耐震化の工事は済ませております。改修におきましては、江面小学校、太東中学校等、今までの事例を踏まえまして夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中に騒音や粉塵が発生する工事を行い、授業日は騒音が発生しない工事、後は土日祝日を利

用して工事を進めて改修を実施してまいりました。

議長
(山本会長)

金子委員いかがでしょうか。

金子委員

本審議会では統合等につきまして、小規模化が進みデメリットが多すぎる場合には統合が望ましいという意見をまとめていました。久喜北小学校の場合は、130人単学級といえども小規模校の特色を生かした教育が行われる可能性が大きいのではと感じます。環境整備の件が絡んできているのでどちらが先かはありますが、将来的に見れば統合は望ましいのではないかと思いますし、施設面のキャパシティを考えれば、本町小学校しかないとなれば場所については、本町小学校でよろしいと思います。現在の子どもたちのことについては、学校だよりを拝見すると雨漏り等の応急処置的に環境改善のため教育員会は対応している状況なので、大規模改修か新校舎を建てるのかについては、予算のことがあるのでどちらが先なのかと考えられます。

議長
(山本会長)

松村委員いかがでしょうか。

松村委員

4月から校長を仰せつかっております立場で、皆さんのお話を伺っていて思うことについて伝えさせていただきます。たくさんの保護者の方や地域の方とお話する機会がありまして、小さな学校ですので今後、小学校はどうなるのかというお話を伺います。その中で感じることは、今後、うちの小学校はどうなるのか皆さん心配しておりますので、たくさんの声を聞いてほしいと思います。先ほど、PTAの代表者のお話を伺っていて、昨日実は入学説明会を行ったのですが、いらっしゃった保護者の皆様から、校長先生どうなるのと開口一番聞かれ、今後の子どもたちの成長を考えると、どの場所でどんな教育を受けることが子どもたちの未来に繋がっていくのかということを保護者の方々は自然に考えております。小さな学校で育てることの目の行き届く意見もありますし、もっと大海を見て世界に羽ばたいていく子どもを作るためには、たくさんの人たちとふれあいをさせたいという思いもありますし、色々なことがまだ分からないのですが、子どもたちにとって良い環境になるといいですよと話をしております。地域の方からもたくさんのご意見をいただいております。地域を愛している方たちなので、地域が良い状態で継続することを望む意見を伺っております。菖蒲地区は、小さい学校が多いため、みんなで大きな学校を1つ作ってバスに乗せてもらい、菖蒲中学校に5つの小学校が集まるならば5つの小学校を全て一緒にした学校を作ってバスで運んでもらうのはどうかと話があり、確かにそのような考え方もあるのだなと思うことがありました。子どもたちにとって小学校の段階から大切な時間を過ごさせてあげたいと思いました。

議長
(山本会長)

森下委員いかがでしょうか。

森下委員

私も栗橋の小学校の校長を仰せつかっておりまして、今の審議会の感想を校長という立場でお話させていただきます。大きく2つですが、1つ目は、統合は必

要であると思います。小さい学校で教育活動を行うことはとても良い面もありますがデメリットも多くあります。統合は必要ですが、統合はかなり大きなことですので、保護者の皆様のご理解はもちろんですが地域への説明を丁寧に行わなければならないことが大きな1つ目です。2つ目は私の立場でいうとやはり学校環境が一番です。環境が良いところで子どもたちを教育させたい、それが1番ですのでそこだけを考えてやらせてもらいたいです。この審議会でも環境、活動を良くするための審議をやらせていただいておりますので、今回のような本町小学校の場所を第一段階として次の段階、そういう形を事務局にはとっていただきたいと思っております。

中村委員

私は今回の議題の統合には賛成です。本町の大規模改修するか新校舎を建設するかについて提案されている教育委員会はそれなりの根拠があって提案しているのだからクリアできるだろう。吸収合併については、会社を一つにするときに使われる用語であり、現在日本の国では学校を統廃合する場合には吸収合併という言葉は一切使いません。統合又は統廃合という言葉を使っております。参考資料1の地図で、J A埼玉県厚生連と標記があるが現在は新久喜総合病院になっているので、古い地図なので新しい地図が手に入らなかったのか今後は新しい情報を流した方が良く考えます。

議長

ありがとうございました。

(山本会長)

皆さんそれぞれの立場からご心配な点、ご懸念の点、そして、将来のこと現在のこと様々な視点からご意見いただきました。本当にありがとうございます。さて、ここで事務局に確認しますが皆様のご意見は将来的に本町小学校と久喜北小学校の統合が必要になった場合に新校の位置が本町小学校でよいということについてのご意見が多かったと思っておりますが、今後の進め方について事務局に確認したいのですが、どのように考えておられますか。

事務局

(田口課長補佐)

今後につきましては、本日皆様方からいただいた内容を答申書案というかたちにとりまとめ、次回の会議においてご協議いただき答申書を提出いただきたいと思いますと考えております。

議長

(山本会長)

ありがとうございます。

事務局より今後の進め方について説明がありましたけれども最後に皆さんから何かご意見ございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局におかれましては、本日の会議内容を踏まえて、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

その他、ご意見等はございますか。

ないようでしたら、本日の議事は以上でございますので、議事を終了し、議長の任を解かせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

4 その他

司会

ありがとうございました。

(麦倉主幹) 次にその他といたしまして事務局から報告がございます。

事務局 (田口課長補佐) 先ほどご意見にもありましたが、本町小学校の現在の改修の状況についてご報告させていただきます。普通教室棟の正門側、松の門側の普通教室棟の屋上防水改修工事につきましては、昨年の8月から12月まで施工いたしまして完了しております。また、普通・管理・特別教室棟については、現在入札の手続き中でございます。2月中旬頃の契約を予定しており、2月から6月頃を目途に工期としております。

続きまして、外壁改修工事につきましては、令和5年度に予定をしております。

続きまして、トイレ改修工事につきましては、令和3年度は普通・管理・特別教室棟の2、3、4階の男子トイレ、女子トイレの洋式化やトイレブース改修を実施いたしました。また、令和4年度は普通・管理・特別教室棟の2、3、4階の男子、女子トイレブースの改修と便器の洋式化の実施について、今月中には完成する予定です。修繕工事の関係は、今年度の第1回会議において本町小学校の状況について資料提示いたしましたが、その中の一部でございますが修繕しております。管理・特別教室棟の4階5年2組と5年1組前の廊下の天井が雨漏りの影響により空いておりましたが、現在は雨漏りの修繕を行って塞いでおります。続きまして、管理・特別・教室棟の昇降口出入り口の天井部がクラックによりコンクリートの破片が落ちる状況でしたが、部分的にコンクリートの剥離をして落下しないような状況にしております。抜本的な修繕は実施しておりませんが、来年度に実施する予定の外壁改修工事の際にしっかりと修繕、施工してまいります。

司会 ありがとうございます。

(麦倉主幹) 次に、その他でございます。

今後の会議の開催予定を申し上げます。

本審議会の第5回会議は3月下旬に開催することを検討しております。

委員の皆様へは、改めてご案内の文書をお送りいたしますので、ご確認いただきたいと存じます。

事務局からの連絡事項は以上でございます。

5 閉会

司会 閉会にあたりまして、森下副会長からごあいさつをいただきたいと存じます。

(麦倉主幹) 副会長、よろしく願いいたします。

森下副会長 委員の皆様、慎重なご審議ありがとうございました。本日は、久喜北小学校と本町小学校の保護者の皆様への説明会報告とかアンケートの結果等を聞いて審議いたしましたが、保護者の皆様も委員の皆様も先のことが見通せないという不安があることが分かりました。とても難しい審議でありましたが、本審議会では将来的に本町小学校、久喜北小学校の統合が必要になった場合の場所を本町小学校でという方向に進んでいるという確認ができました。次の審議会では答申等が予定されておりますので、事務局におかれましては準備をお願いします。毎回お話をさせていただいておりますが、我々は子どもたちの学校教育及び教育環境の構築を一番に考えることが重要であることを再確認させていただきました。

司会

ありがとうございました。

(麦倉主幹)

以上をもちまして、令和4年度第4回久喜市立小・中学校学区等審議会を閉会とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和5年2月22日

会 長 山本 千恵子

委 員 河野 孝依